



熊本地震により
被災された方々、ご家族
の皆さまに心より
お見舞い申し上げます。
蓮田病院職員一同

蓮田病院理念

“思いやりのある やさしい医療”
“最新の高度医療”

発行：蓮田病院広報部
連絡先：048-766-8111 蓮田病院総務課
発行日：平成29年1月1日

健康セミナー「生涯現役めざして」

蓮田病院 理事長 前島 静顕



新年明けまして、おめでとうございます。皆様、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。昨年を振り返りますと、イギリスのEU離脱、難民受け入れをめぐるドイツ、フランスをはじめヨーロッパ各国の混乱、アメリカでは大方の予想を覆してのドナルド・トランプ氏の次期大統領選当選、また、アジアでも韓国の政情不安定等、予期し得ない事態が頻発しました。地球規模の混沌とした社会状況で新年が明けました。わが国への影響も多大であります。

中でも、トランプ氏は過激な自国優先発言で何かとお騒がせの人物ですが、昨年、私がこの誌上で申し上げましたTPP(環太平洋経済連携協定)についても棚上げ・撤回を示唆しています。日米二国間交渉を想定しているようです。ただ、わが国の医療への影響はどうか？何か違いが出るかと想像しますと、風圧はより強まり、尚一層厳しい環境になることが予想されます。注意深く今後の推移を監視すべきことは言うまでもありません。

一方、わが国の医療における問題点に目を向けますと、私がおこ数年来ずっと懸念してきたことですが、医師の教育制度に大きな欠陥があります。専門医制度・認定医制度等の医師資格制度及び専門領域の細分化が医師の基礎知識、基礎的診療技術の体得に障害となっている現実です。

専門的な領域、特殊で稀な疾患に取り組むことも大事ですが、まず、医師として基礎的な分野にじっくりと時間をかけ、幅広い領域・疾患に対応でき得る能力を身につけてから次のステップへ進むような医師教育制度の導入が必要と痛感しています。患者様方からは、医師であれば診てくれるだろうとの要望があり、まして、地域医療を担う医療機関の医師ならば何とかしてくれるだろうとの期待が強くなると思います。診療科が違うとか専門外だからNoです。

蓮田病院は来年創立30周年を迎えます。医療を取り巻く環境はますます厳しくなりますが、私の信念でもあります地域医療の充実、医療・介護・在宅医療との連携による地域完結型の医療の実現をめざし、不断の努力を尽くす所存です。地域住民の皆様方のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

平成29年1月

「口腔がん」お口の中を見てください

蓮田病院歯科口腔外科部長
(社)口腔外科学会専門医、指導医 秋月 弘道



口腔がんとは、口の中やその周辺組織にできるがんのことで、できる部位によって舌がん、歯肉がん、口底がん、頬粘膜がんなどと呼ばれて、口の中のどこにでもできます。口腔がんの発生率は、体全体にできるがんの1~3%です。しかし、以前に比べると口腔がんになる人は男女ともに増えてきています。日本における口腔がんの発生は70歳代が一番多く、50歳以上の方が約80%を占めています。口腔がんは直接見ることができ、指で触ることもできるのが大きな特徴です。胃や大腸などは、直接見ることができないために、ファイバースコープなどを使って検査する必要がありますが、口腔がんは肉眼で観察し手指で触診することができるので、専門医の診察を受ければ、特別な検査や器械を使わずに発見できる可能性の高いがんです。また、皆様が自分で観察することもできます。口腔がんを疑うポイントを挙げますので、セルフチェックしてみてください。①口の中に硬い「しこり」がある。②口の中に出血しやすい場所がある。③3週間以上治らない口内炎や潰瘍ある、または抜歯後の傷の治りが悪い。④口の中に痛みがある。⑤口の中や唇にしびれがある。⑥口の中が腫れて、入れ歯が合わなくなった。⑦口の中に白い部分または赤い部分がある。⑧口臭があると言われた。⑨原因不明の歯のぐらつきがある。⑩首のリンパ節の腫れが3週間以上続いている。上記のような症状に、「私も？」と思われた方はいませんか？お腹の中のがんは目で見たり、触ったりすることはできませんが、「口腔がん」は目で見たり、触ったりできます。「おかしいな？」と思ったら、かかりつけ歯科医院、耳鼻咽喉科や歯科口腔外科の専門病院への受診をお勧めします。



「医事課」という言葉は聞き慣れないかもしれませんが、「医療事務」という言葉でしたらご存じでしょうか。病院に来られた際、受付を訪ねると思いますが、その受付窓口で働いているのが、医事課のスタッフになります。

今回は医事課の業務について少しご説明いたします。医事課は大きく分けると、外来業務と入院業務に分かれます。外来の主な業務内容は、患者様の受付、カルテ作成、カルテ搬送などを行います。また、会計業務、院外処方箋のお渡し、各種書類の受付も行っております。患者様とつながりをもつ最初の窓口でありますので、不安を抱えて受診される患者様に少しでも和らいでいただけますよう親切、笑顔をもっととして努めております。入院業務の主な業務は、毎日の診療行為の入力、退院会計、月に1回の入院費の請求などがあります。各階にスタッフを配置して迅速に対応しております。また、外来・入院共に共通する業務として保険請求業務を行っております。1ヶ月分の診療行為を全てまとめ、レセプトと呼ばれる診療報酬明細書を作成して、審査支払機関を通して保険者に請求する業務です。保険証の数字1つでも間違えると請求することが出来ません。月に1回保険証の確認をさせていただいているのは、このためなのです。最後に大切な業務としては説明業務があります、医療保険制度は2年1回改定されます。請求書について疑問がある場合、医療保険制度にご質問等があれば、医事課スタッフにお気軽にお尋ねください。各部署と連携を計りスムーズな患者サービスが出来るよう努めたいと思います。



キャンドルサービス

毎年恒例のキャンドルサービスを12月14日に当院の1階ロビーにて行いました。今年のクリスマスコンサートは、「歌と楽器のアンサンブルあじさい」の4人がピアノ・フルート・バイオリンとソプラノの歌声による美しい演奏で『サンタクロースがやってくる』『ジングルベル』など7曲を披露してくれました。患者様も曲にあわせて手拍子をしたり、一緒に歌ったりとコンサートを盛り上げてくれました。

演奏後は、キャンドルサービスを行いました。一日も早い回復を願ってキャンドルの灯火を皆様にお届けするとともに全員で『きよしこの夜』を合唱し、キャンドルサービスを終了しました。

また、サンタクロースと一緒に職員が病棟を訪問し、入院患者様お一人おひとりにプレゼントを届けました。

「素晴らしい演奏でした。心が穏やかになり、楽しかったです」「良い音楽を聴けて、良い年が迎えられそうです」と楽しんでいただけたようです。



編集後記



あけましておめでとうございます。本年も皆様にとりまして、幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

一月は睦月といい、親族が互いに往来し、仲睦まじく宴をする月であるからと言われております。また、稲の実を初めて水に浸す月を指す「実月（むつき）」から転じたという説もあります。“初詣”“初夢”“書き初め”“初釜”一月には、一年をスタートするのに相応しい言葉が沢山あります。新鮮な気持ちで周りを見渡し、新しいことに挑戦してみたいかかでしょうか。新しい発見が待っているかもしれません。

広報委員 久保木 悦子

蓮田病院公開講座のお知らせ

2月の公開講座は、感染対策の関係で中止とさせていただきます。

今回は、4月7日(金)となります。詳細は、次号の広報誌にてお知らせ致します。